

役立つ税になるように

西中学校 3年 松本 夏穂

まず最初に、税について改めて考え、調べてみました。税は主に、国の活動のために使われているようです。税があることで、救急車や交番なども、困った時にはお金を払わず使えるのです。それ以外にも、発展途上国への支援金などにも使われているそうです。

では、税金が無かったら、どうなるのでしょうか。まず、公共物の使用がほとんど有料になってしまうでしょう。たとえば、図書館で本を借りるのにも、お金がかかってしまいます。そして、医療や学費もすべて、自己負担になってしまいます。こうして税がなくなってしまうと、大変生活が苦しくなってしまう人が多く出てしまいます。一人で生きていける人は、いないのです。みんな誰かに支えられながら生きているのです。税を払うことで、国全体がまとまり、支え合って生きていけるのです。だから税は、お互いが支え合って、共存するためには、とても大切なものです。

しかし、税は一つも無駄使いされていない、と言えるでしょうか。私は、言えないと思います。前に、高速道路が未完成のまま、造るのを中止していたのを見ました。その時に、「これも税金で造られているんだよなあ。」と少し残念に思いました。税金は、国民が汗水流して、一生懸命稼いだお金です。だから、国に役立つものや、国民が幸せに、少しでも笑顔になれるようなものに使ってほしいです。今年の3月11日にあった、東日本大震災でも、税金が役に立ったと思います。自衛隊の方々が炊出しに行ったり、行方不明者の捜索を行っているのを見た時、このような時に、税金が役立つのは良いことだと思います。こうして、地震の影響を受けた場所の復興に税金が役立っているのを見ると、他人事ではなく、現場には行けないけれど、影響を受けてしまった所の人々と繋がれている気がします。

今まで私は、税金について深く考えたことはありませんでした。100円ショップなのに、5円余分につくのは何でだろう、と思うくらいでした。でも、今回税の作文を書くにあたり、税金のことをよく考えてみると、税金はただ余分に払っているのではなく、ちゃんと意味があるお金なのだと思います。また、今回の地震で復興作業を行って下さっていた、自衛隊の方々のことも、決して他人事ではない、ということに気がきました。このように改めて税について考えてみると、新しい発見がたくさんありました。これからは、何も考えず、税金を払うのではなく、この税金がどこかで役に立っているんだ、という気持ちで心を込めて払いたいと思います。国民一人一人の税金が、意味あるものでありますように。